



■施工仕様

アンカー筋		穿孔径×埋込深さ (mm)	必要樹脂量※1 (cm³)		GL900N 1本あたりの※2 施工可能本数		最大引張強度※3 (kN)	長期許容引張強度※4 kN (kgf)	短期許容引張強度※4 kN (kgf)
M10	W3/8	12× 80	5.5	6.5	152	129	47	9.24 (940)	13.8 (1410)
D10		13× 80	6		140			9.34 (950)	14.0 (1425)
M12	W1/2	14×100	9	8	93	105	61	13.7 (1390)	20.5 (2085)
D13		16×100	9		93			14.5 (1470)	21.7 (2205)
M16	W5/8	18×130	16	18	52	46	131	24.1 (2450)	36.1 (3675)
D16		20×130	18		46			24.5 (2490)	36.7 (3735)
M20	W3/4	22×160	26	33	32	25	174	36.5 (3720)	54.7 (5580)
D19		24×160	32		26			36.9 (3760)	55.3 (5640)
M22	W7/8	25×180	41	42	20	20	213	46.3 (4720)	69.4 (7080)
D22		28×180	49		17			47.0 (4790)	70.5 (7185)
M24	W1	28×190	60	52	14	16	247	52.0 (5300)	78.0 (7950)
D25		32×190	68		12			53.0 (5400)	79.5 (8100)

※1 必要樹脂量は余剰率2割で計算しています。 ※2 施工可能本数はあくまで目安であり実際の施工によってはばらつくことがあります。

※3 最大引張強度はMネジボルト(高強度ボルト)を使用した実験値です。(Fc=24N/mm²、乾燥孔)

※4 「ケミカルアンカーGLタイプ強度計算式」に基づいた計算値です。

* 計算条件:Mネジボルト(SS400相当材)の場合:Fc=21N/mm²、M16以下 sδy=245N/mm²、M20以上 sδy=235N/mm²

異形棒鋼の場合:Fc=21N/mm²、D13以下(SD295A) sδy=295N/mm²、D16以上(SD345) sδy=345N/mm²

樹脂とコンクリートの許容付着応力度:乾燥孔の場合 τa=16√(Fc/21)N/mm²、湿潤孔、水中孔の場合 τa=13√(Fc/21)N/mm²